



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社
コード番号 7433 URL <https://www.hakuto.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）宮下 環
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 （氏名）海老原 憲 TEL 03-3225-8931
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	136,027	△3.4	5,290	△17.4	4,811	△21.6	4,235	△1.2
2025年3月期第3四半期	140,880	0.4	6,406	1.1	6,138	3.3	4,286	6.9

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 6,499百万円（28.4％） 2025年3月期第3四半期 5,063百万円（5.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	225.02	—
2025年3月期第3四半期	227.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	138,999	67,755	48.7	3,598.89
2025年3月期	130,376	65,546	50.3	3,483.44

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 67,755百万円 2025年3月期 65,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	130.00	—	130.00	260.00
2026年3月期	—	100.00	—		
2026年3月期（予想）				100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	186,000	1.6	6,000	△24.2	5,700	△22.2	4,900	△4.5	260.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	21,137,213株	2025年3月期	21,137,213株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,310,411株	2025年3月期	2,320,518株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	18,823,649株	2025年3月期3Q	18,814,133株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国のトランプ関税への対応が進んだことから当初想定より底堅く推移しました。一方、今後は企業がこれまで吸収してきた関税コストの価格転嫁が進むことで、需要の下押し圧力が顕在化する見込みです。ただし、生成A Iの普及に伴う投資拡大や金融環境の緩和が景気を下支えしており、大幅な失速は回避される見通しです。

我が国の経済については、2025年7～9月期に実質GDPが前期比で減少するなど一時的に弱含む局面がみられたものの、人手不足を背景とした賃上げの動きが継続する中で雇用・所得環境は改善基調にあり、個人消費は耐久財・サービスを中心に持ち直しました。設備投資もDX・GX関連やソフトウェア等を中心に堅調に推移し、内需主導の緩やかな回復が続いております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界では、成長の牽引役が生成A IからA Iエージェントへ移行し、需要の中心が個人向けから法人向けへ移る中、データセンター等の関連投資が加速しております。その結果、メモリの需給は逼迫し価格が上昇する一方、その他の分野では回復が緩やかであり、市況の二極化が継続しております。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、車載関連を中心に販売低迷や顧客の在庫調整が継続したことにより、対前年同期比で減収となりました。

電子・電気機器事業においては、半導体関連およびPCB向けの設備投資が停滞した影響により販売が減少し、対前年同期比で減収となりました。

ケミカル事業においては、化粧品基剤の海外向け出荷が増加したことなどにより、対前年同期比で増収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は1,360億27百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

損益面につきましては、当第3四半期連結累計期間の連結売上総利益は203億12百万円（同2.9%減）となり、連結販売費及び一般管理費として150億22百万円（同3.5%増）を計上した結果、連結営業利益は52億90百万円（同17.4%減）、連結経常利益は48億11百万円（同21.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億35百万円（同1.2%減）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は225円02銭となり、前年同四半期より2円82銭減少いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品事業では、車載関連用途において前年度後半の主要顧客向けまとめ販売の影響により顧客在庫が高水準となり、調整局面が継続したことに加え、EVバッテリー向けの販売が低迷したことから売上が減少しました。また、情報通信・モバイル分野では回復の動きが鈍く需要が低迷し、産業機器分野では顧客在庫が解消しつつあるものの、中国市場の低迷の影響で苦戦しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,061億3百万円（前年同期比5.1%減）となり、販売減少に伴う利益額の減少や為替影響等により、セグメント利益は36億63百万円（同21.8%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器事業では、真空関連において半導体工場向け環境測定装置および理化学向け分析装置の販売が引き続き堅調に推移し、売上が増加しました。一方、PCB関連はサーバー・PC向けパッケージ基板メーカーの投資抑制が継続し、パワーデバイス向けも投資停滞が続いたことから、いずれも販売は減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は185億13百万円（前年同期比7.9%減）となり、販売減少に伴う利益額の減少等の要因により、セグメント利益は16億61百万円（同16.8%減）となりました。

[ケミカル事業]

ケミカル事業では、紙・パルプ分野において内需縮小の影響が続き、出荷が減少しました。一方、石油石化分野では海外プラントの稼働率低下があったものの国内向けが堅調に推移し、売上が増加しました。化粧品分野でも需要の回復基調が継続し、海外向け出荷の増加などにより化粧品基剤の売上が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は84億46百万円（前年同期比6.2%増）となり、セグメント利益は4億95百万円（前年同期はセグメント損失33百万円）となりました。

〔その他の事業〕

その他の事業では、当社の業務・物流管理全般の受託事業と太陽光発電事業に加え前期下半期より材料調査などの受託分析・試験評価事業を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、受託分析・試験評価事業の寄与により32億67百万円（前年同期比139.3%増）となりましたが、新規連結子会社に係るのれん償却費や新規事業関連費用の計上などにより、セグメント損失は6億49百万円（前年同期はセグメント損失54百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①連結財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して75億97百万円（6.9%）増加し、1,171億30百万円となりました。これは主に第3四半期連結会計期間末日付近における売上高の増加に伴い、受取手形、売掛金及び契約資産が54億84百万円増加したためであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して10億25百万円（4.9%）増加し、218億68百万円となりました。これは主に保有株式の時価の上昇により、投資有価証券が7億49百万円増加したためであります。

以上のことから、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して86億23百万円増加し、1,389億99百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して101億30百万円（21.5%）増加し、573億27百万円となりました。これは主に運転資本の増加により、短期借入金が75億50百万円増加したためであります。

また、固定負債が前連結会計年度末と比較して37億16百万円（21.1%）減少し、139億16百万円となりました。これは主に約定返済により、長期借入金が47億5百万円減少したためであります。

以上のことから、当第3四半期連結会計期間末における負債の部全体では前連結会計年度末と比較して64億14百万円増加し、712億43百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して22億8百万円増加し、677億55百万円となりました。これは主に、為替の変動により為替換算調整勘定が16億95百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは38億44百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは2億33百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは16億76百万円の支出、現金及び現金同等物に係る換算差額が10億18百万円の増加となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して34億20百万円増加し、当第3四半期末は183億50百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

売上債権の増加額42億69百万円等の支出要因がありましたが、税金等調整前当期純利益61億88百万円、仕入債務の増加額35億95百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは38億44百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には売上債権の増加額128億94百万円等により、4億45百万円の支出となっております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

政策保有株式縮減に伴う投資有価証券の売却による収入14億92百万円等の収入要因により、投資活動によるキャッシュ・フローは2億33百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出37億14百万円等により、44億49百万円の支出となっております。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入れによる収入（純）79億円等の収入要因がありましたが、長期借入金の返済による支出50億55百万円、配当金の支払額42億28百万円等の支出要因により、財務活動によるキャッシュ・フローは16億76百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には短期借入れによる収入（純）71億円等により、79億4百万円の収入となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年4月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。今後、業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,929	18,350
受取手形、売掛金及び契約資産	39,696	45,181
電子記録債権	6,098	5,803
商品及び製品	42,854	41,966
仕掛品	83	145
原材料及び貯蔵品	1,546	1,665
その他	4,391	4,072
貸倒引当金	△67	△54
流動資産合計	109,532	117,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,179	1,186
機械及び装置（純額）	1,310	1,121
土地	3,053	3,053
その他（純額）	1,444	1,677
有形固定資産合計	6,988	7,038
無形固定資産		
のれん	3,028	2,789
その他	1,596	1,408
無形固定資産合計	4,625	4,197
投資その他の資産		
投資有価証券	8,333	9,082
繰延税金資産	447	464
その他	472	1,108
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	9,229	10,632
固定資産合計	20,843	21,868
資産合計	130,376	138,999

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,863	20,103
電子記録債務	1,708	1,259
短期借入金	19,598	27,148
リース債務	313	228
未払法人税等	1,292	408
賞与引当金	2,538	1,357
役員賞与引当金	75	20
製品保証引当金	12	11
その他	5,795	6,790
流動負債合計	47,196	57,327
固定負債		
長期借入金	15,218	10,513
リース債務	152	293
繰延税金負債	1,541	2,272
役員退職慰労引当金	59	56
退職給付に係る負債	279	347
その他	380	432
固定負債合計	17,632	13,916
負債合計	64,829	71,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	2,532	2,548
利益剰余金	49,375	49,282
自己株式	△4,746	△4,724
株主資本合計	55,261	55,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,569	5,106
繰延ヘッジ損益	△13	10
為替換算調整勘定	5,557	7,253
退職給付に係る調整累計額	171	179
その他の包括利益累計額合計	10,285	12,549
純資産合計	65,546	67,755
負債純資産合計	130,376	138,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	140,880	136,027
売上原価	119,955	115,714
売上総利益	20,925	20,312
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	4,857	5,251
賞与引当金繰入額	1,346	1,216
退職給付費用	383	403
その他	7,931	8,150
販売費及び一般管理費合計	14,518	15,022
営業利益	6,406	5,290
営業外収益		
受取利息	30	37
受取配当金	329	307
持分法による投資利益	23	14
その他	214	169
営業外収益合計	598	529
営業外費用		
支払利息	222	261
売上債権売却損	6	12
為替差損	630	703
その他	6	31
営業外費用合計	866	1,008
経常利益	6,138	4,811
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	230	1,373
特別利益合計	232	1,378
特別損失		
固定資産除売却損	2	1
投資有価証券評価損	36	—
特別損失合計	38	1
税金等調整前四半期純利益	6,332	6,188
法人税等	2,045	1,952
四半期純利益	4,286	4,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,286	4,235

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	4,286	4,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	535
繰延ヘッジ損益	△171	24
為替換算調整勘定	1,107	1,695
退職給付に係る調整額	15	7
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	776	2,263
四半期包括利益	5,063	6,499
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,063	6,499

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,332	6,188
減価償却費	877	1,011
のれん償却額	86	239
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△814	△1,196
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,239	△15
受取利息及び受取配当金	△359	△344
支払利息	222	261
持分法による投資損益 (△は益)	△23	△14
投資有価証券売却損益 (△は益)	△230	△1,373
投資有価証券評価損益 (△は益)	36	—
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△3
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41	△43
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,894	△4,269
棚卸資産の増減額 (△は増加)	10,496	1,282
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,688	3,595
その他	2,345	819
小計	1,186	6,137
利息及び配当金の受取額	375	354
利息の支払額	△212	△264
法人税等の支払額	△1,794	△2,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	△445	3,844
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△635	△443
有形固定資産の売却による収入	2	25
無形固定資産の取得による支出	△267	△57
投資有価証券の取得による支出	△71	△11
投資有価証券の売却による収入	242	1,492
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,714	—
非連結子会社株式の取得による支出	—	△103
その他	△4	△668
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,449	233
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	197,200	190,900
短期借入金の返済による支出	△190,100	△183,000
リース債務の返済による支出	△229	△313
長期借入れによる収入	12,000	—
長期借入金の返済による支出	△6,053	△5,055
自己株式の取得による支出	—	△0
自己株式の処分による収入	35	22
配当金の支払額	△4,948	△4,228
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,904	△1,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	515	1,018
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,525	3,420
現金及び現金同等物の期首残高	15,568	14,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,094	18,350

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、当社は当四半期連結累計期間にHAKUTO INDIA PRIVATE LIMITED を新規設立しましたが、総資産、売上高、連結純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であり重要性がないため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	ケミカル事業	その他の事業	
売上高	111,780	20,093	7,956	1,365	141,195
セグメント利益又は損失(△)	4,685	1,996	△33	△54	6,594

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	ケミカル事業	その他の事業	
売上高	106,103	18,513	8,446	3,267	136,331
セグメント利益又は損失(△)	3,663	1,661	495	△649	5,170

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	141,195	136,331
セグメント間取引消去	△315	△303
四半期連結財務諸表の売上高	140,880	136,027

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	6,594	5,170
その他の調整額	△188	119
四半期連結財務諸表の営業利益	6,406	5,290

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、2024年9月6日に株式会社クリアライズの全株式を取得し、完全子会社化したことよりのれんが発生しました。当該事象によるのれんの増加額は、前第3四半期連結累計期間においては3,108百万円であります。

なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの変動の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。